

絃友会便り

名渡山兼一と絃友会をご支援くださる皆様へ近況報告、

絃友会便りをお届けします。

2018.11.15 No.126

絃友会事務局・新谷 真由美

<http://www.genyu-kai.com>

第 81 回 沖繩芸能大会



前ン田節・サフエン節・稲しり節

川崎沖繩芸能研究会主催の沖繩芸能大会が 10 月 14 日「カルッツかわさき」で開催されました。「カルッツかわさき」は、老朽化した川崎市体育館と川崎市教育文化会館のホール機能を有する施設で、2017 年 10 月 1 日にオープンした川崎市スポーツ・文化総合センターです。



初めての会場でしたが、幕開斉唱・古典舞踊・雑踊・民謡・箏曲斉唱・器楽合奏など 17 の演目が滞りなく進行し無事終演いたしました。

琉球民謡登川流関東支部支部長の大城康彦先生と名渡山会主の可愛らしい笑顔。

様々な葛藤のあった沖繩芸能大会の長い歴史を後進にゆだねた安堵の顔なのかもしれません。

川崎沖繩芸能研究会が団体で沖繩県文化功労者に選定!!!

2018 年度県文化功労者 1 団体・14 個人が決定され、11 月 13 日沖繩県庁講堂で表彰式が開かれました。川崎沖繩芸能研究会は昭和 25 年、金城時雄氏・池宮喜輝氏・米須清仁氏・亀川盛要氏・渡嘉敷守良氏・渡嘉敷亮氏を発起人として発足したと「川崎の沖繩県人 70 年の歩み」に記されています。川崎における沖繩芸能は、戦後しばらく三絃の大家・池宮喜輝先生、舞踊の大家・渡嘉敷守良先生が川崎に滞在したことで普及・発展しましたが、それ以前の大正時代に阿波連本啓先生が川崎で舞踊を伝承し続けられたことも土台となっていると思います。

それに重ね、先達のふるさと沖繩に向ける想いに共鳴し支えて下さった川崎市有志のお力添えにも感謝せずにはられません。



川崎郷土市民劇「日本民家園ものがたり」

川崎市にある日本の古民家・文化財集落「日本民家園」の誕生に尽力した古江亮仁先生の熱い壮大な夢を成就してゆく過程を描いたドラマが、来年 5 月全 5 回公演で上演されます。

古江亮仁先生は、川崎沖繩芸能研究会を川崎市の無形文化財第一号認定に推進して下さった方・・・公演の盛会に向け事務局・新谷、微力を尽くさせていただいております。

作家・小川信夫先生、実行委員長・藤嶋とみ子先生、演出家・鈴木龍男先生